

平成29年度 第4回小出警察署協議会議事概要

開催日時	平成30年2月22日（木）午後3時30分から午後5時45分まで		
開催場所	小出警察署講堂		
出席者	新潟県 公安委員会	武井公安委員	
	委員 (定数6人)	横山会長 瀧澤副会長 桑原委員 酒井委員 佐藤委員 平井委員 (会長・副会長以下50音順)	計6人
	警察	岡村署長 寒河江次長 警務課長 生活安全課長 青木地域課長 交通課長 警備課長 署所在地勤務員 堀内交番所長 広神駐在所員 須原駐在所員	計11人

公安委員会委員挨拶

会議に陪席した武井公安委員から挨拶があった。

管内の治安情勢

署長から、平成29年中及び平成30年1月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 交通死亡事故抑止対策

(1) 関係機関と連携した抑止対策

- ア 道路管理者、魚沼市等と連携
死亡事故発生現場における各種施策
「横断歩道の移設と強調化」、「路面標示
による注意喚起」、「防犯灯の設置」等の
施工完了。



イ 魚沼市、交通安全協会と連携

- ・ 安全運転管理者部会加盟240事業所から、交通事故根絶に向けた署名及び署名入りのぼり旗の提出を受ける。(10月5日)

- ・ 女性・高齢ドライバー対象のシミュレータ装置を使用した模擬運転訓練や、自動車学校コースを使用した実技講習会を開催(10月16日)
- ・ 堀之内「お神送り」会場で広報、ちらし配布を実施(11月1日)
- ・ 飲酒運転根絶の取組として、市内約170店舗の飲食店を訪問し広報、ちらし配布を実施

(2) 事故多発路線、時間帯における街頭活動の強化

夕暮れ時間帯の午後4時から午後6時の間、国道17号を中心とする幹線道路において、赤ランプ広報、駐留警戒等の活動を強化した結果、10月以降、夕暮れ時間帯の事故発生件数が大幅に減少するなど、大きな効果があった。

(3) 死亡事故に直結する危険違反の指導取締り強化

「交差点関連違反」、特に横断歩行者妨害等の交通違反指導取締りを強化した結果、前年に比べ、事故の発生件数は減少したが、死者数は同数で、負傷者数は増加するなど、1件の事故で複数人が死傷する傾向が見られたことから、今後は交差点関連違反の指導取締りの他、シートベルト・チャイルドシート関連の指導取締りを強化するなど、「被害の軽減」を図る対策を講じる必要がある。

2 特殊詐欺被害防止対策

(1) 検挙活動の推進

11月27日発生した警察官をかたる特殊詐欺事件につき、前兆電話認知後、直ちに関連事業所等へ手配を実施したところ、ひかりタクシー運転手から不審者情報の通報を受け、検索した結果、現金の受け取り役を発見し逮捕するに至り、通報者には感謝状を贈呈した。

(2) 被害防止対策の強化

ア 高齢者を中心とした被害防止教室等の推進

11月17日、守門地区老人クラブにおいて、当署若手警察官が、寸劇による被害防止広報を実施

イ 水際対策の推進

- ・ 金融機関に対する広報と意識付け

12月13日年金支給日に市内6店舗、12月14日第四銀行堀之内支店、12月15日塩沢信用組合小出郷支店、2月8日第四銀行小出支店において、広報やちらし配布を行い、被害防止の意識付けを行った。

- ・ コンビニエンスストアに対する広報と意識付け

12月中、市内のコンビニエンスストア全店舗に対し、詐欺被害防止の注意書きが入った封筒を配布、電子マネー購入者に使用してもらうよう協力依頼を実施

これらの対策により、1月17日第四銀行堀之内支店において、500万円の特殊詐欺被害を防止することができ、感謝状を贈呈

ウ 被害状況等の情報発信

- ・ 『民事訴訟管理センター』名の架空請求はがきについて、10月1日「NICうおぬま」に掲載。また、交番速報を発行して全戸に配布、被害防止広報を実施
- ・ 11月27日、警察官をかたる特殊詐欺前兆電話を認知後、直ちに金融機関やタクシー会社に手配を実施、結果被疑者検挙につながった。
- ・ 1月25日、魚沼ケーブルテレビに出演し、特殊詐欺の被害現状や手口等を紹介

- ・ 交番・駐在所作成の広報紙に掲載、被害防止広報を実施
- エ その他の広報
 - ・ 10月21日、JA農業祭会場に警察ブースを設け、警告メッセージ付電話機を展示、体験広報を実施
 - ・ 12月22日、年末特別警戒の際、市内のスーパーマーケット3か所において、ちらし配布などの被害防止公法実施(協議会委員参加)
 - ・ 1月17日、特殊詐欺被害が心配された独居高齢者に録音装置付電話機を貸し出し、被害防止を図った。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 交通死亡事故抑止対策

(1) 関係機関と連携した抑止対策

- ア 事故発生分析に基づく各種施策と効果検証
- イ 魚沼市、交通安全協会と連携した事故防止の呼び掛け
- ウ 高齢運転者、高齢歩行者に対する安全教育

- (2) 事故多発路線、時間帯における街頭活動の強化
- (3) 死亡事故に直結する危険違反の指導取締り強化

2 特殊詐欺被害防止対策

(1) 検挙活動の推進

- ア 事件認知時における金融機関、コンビニエンスストア、タクシー等への早期手配
- イ だまされたふり作戦による現場検挙
- ウ 詐欺電話など犯行ツールの追跡捜査

(2) 被害防止対策の強化

- ア 被害防止広報・教室の推進
- イ 金融機関、コンビニエンスストア等の協力による水際対策の推進
- ウ 被害の現状や手口などの情報発信

答申

小出警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

意見・要望・質疑等（○は署長等の説明）

1 交通死亡事故現場における横断歩道の移設等の施策は、非常に見やすくなり効果があった。言い換えれば、従前の横断歩道の位置が悪かったのではないか。他の地域でも考えられることであり、要望があれば対応していただきたい。

○ 要望があれば、その都度対応します。

2 小学校付近の信号機の押しボタンが凍結して押せなくなったという話を聞いた。対応策はあるのか。

○ 通行車両による消雪パイプの水はねが原因でした。本部とも協議して対策を検

討中です。

3 今年は大雪の影響で、山菜採りができる期間が長くなり、そのため山の事故が増えることが予想される。対策を強化願いたい。

- 昨年実施して効果があったちらし配布や、広報紙による注意喚起を今年も強化していきたい。

速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があった。

武井公安委員講評

武井公安委員から、

- 委員の提言により、交通死亡事故現場の横断歩道を移設し、カラー舗装され、視認性が高められたことは、現場の声が活かされた良い取組と思う。
- 押しボタン信号機の凍結の件について、警察本部、公安委員会で話をしたい。
- 協議会委員の方は、何かあれば、この会議に限らず、意見・要望を警察署に寄せてほしい。

旨の講評があった。

その他

協議会開催後、協議会委員と受け持ち所管区員との意見交換会を行った。

また、委員は平成29年度小出警察署所管区広報紙コンクールの審査に参加し、投票を行った。